

## 決 議

医療従事者の献身的な努力により、世界最高水準を維持している日本の医療保険制度は、目先の利益を求める財界と、国民の福利を無視する政府により、今まさに崩壊のさなかにある。

政府は、国策の根幹である医療・福祉・農業・教育に対し、財界と結託して官製市場と称し、ここに市場原理を導入しようとしている。

さらに、度重なる破滅的な医療制度改悪を通じて、国民の生存権の保障という最低限の義務を放棄し、その政治姿勢はまさに不安と混乱を増大するものと言わざるを得ない。このような弱者切捨ての方針により、日本の将来の姿は、年を重ねる毎に「安心と誇りを持てる社会」ではなく、「失意と絶望を背負わされる社会」になるうとしている。

我々には、全ての国民が安心して良質の医療を等しく受けられる優れた医療制度を守り発展させていく責務がある。今や崩壊寸前にある医療制度の危機的状況に鑑み、我々は左記の事項を強く主張する。

### 記

- 一、健康や生命を軽視し国民の権利を略奪する小泉内閣の即時退陣を要求する。
- 一、医の倫理を顧みない株式会社医業経営参入の道を即刻撤廃せよ。
- 一、制限医療や差別医療そのものである混合診療導入に断固反対する。
- 一、良質で安全な医療提供のために国の責務で確固たる財源の確保を要求する。
- 一、国民の健康を守るため患者負担の軽減を要求する。
- 一、不合理を極める消費税増税の解消を強く求める。

右、決議する。

平成十六年九月四日